

祝 辞

文部科学省研究振興局長 石川 明

本日ここに、神戸大学「学術情報基盤センター」設置記念式典が挙行されるにあたり、一言お祝いの言葉を申し上げます。

現在、我が国においては、高度情報化社会の形成に向け、科学技術基本計画に基づき、情報通信分野を重点分野として、関連施策の推進に取り組んでいるところです。

中でも、未来を拓く新しい知の創造を担う大学においては、高度情報化社会を支える専門的知識と能力を備えた人材の育成という本来の使命に加え、学術研究の高度化を支える情報基盤を整備し、最先端の情報技術を活用した研究を推進することにより、学術研究全般の発展に貢献し、優れた研究成果を社会に還元することが求められています。

このような状況の中で、神戸大学「学術情報基盤センター」は、前身の総合情報処理センターの活動をさらに発展させ、大学の教育研究活動を高度に支援する情報基盤を提供するとともに、大学における情報化を一層推進させる研究開発を行うことを目的として、新たに設置されました。

今後、本センターにおいて、情報基盤の高度化に関する総合的な研究開発が行われ、得られた研究成果を情報基盤の整備充実に反映することにより、教育研究の情報化が一層進展することを期待しております。

国立大学法人化という新たな段階を迎え、各大学においては、より一層自主的、自律的な取り組みが求められており、研究施設においても、各大学の先駆的・先導的研究に取り組むための戦略拠点として重要な役割を果たすことが期待されています。本センターが、神戸大学における高度情報基盤の中核として機能するだけでなく、IT技術をはじめとした様々な知的資源の社会への提供など、我が国の科学技術・学術研究の一層の発展に大きく貢献することを念願いたします。

最後に、本センターの設立にご尽力されました学長はじめ関係各位のこれまでのご労苦に深く敬意を表しますとともに、御臨席の皆様におかれましては、本センターへの活動に暖かいご支援を賜りますようお願い申し上げます、お祝いの言葉といたします。